

## 保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になつたり品質が変わります。)(4)本剤は配置期限内に服用してください。なお、期限を過ぎたものは服用しないでください。



A5

# ネオノース

## 第②類医薬品

### 腰痛・外傷痛に

服用の際には、この箱を  
よくお読みください。

開け口

#### !! 使用上の注意

##### してはいけないこと

- [守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります]
1. 次の人は服用しないでください。
- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用前後は飲酒しないでください。
4. 長期連用しないでください。

##### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 授乳中の人。
  - (4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
  - (5) 高齢者。
  - (6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (7) 次の診断を受けた人。

- 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮膚    | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消化器   | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |
| その他   | 過度の体温低下     |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称   | 症 状  |
|---|--|
| ショック<br>(アナフィラキシー)  | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(ステークス・ジョンソン症候群)、<br>中毒性表皮壊死<br>融解症、<br>急性汎発性<br>発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 肝機能障害   | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。  |
| 腎障害   | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。  |
| 間質性肺炎   | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                         |
| ぜんそく  | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。  |

3. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

第②類医薬品  
6包入  
(1包1.15g)

#### 効能効果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

#### 腰痛・外傷痛

づづく  
歯痛・神経痛

6包入

(1包1.15g)

#### 非ピリン系 解熱鎮痛薬

きくや

発売元



きくや 薬品工業株式会社

奈良県高市郡高取町市尾633

0744-52-3070

ネオノース

用法用量  
大人(15才以上)…1回1包 5才以上8才未満1回1/3包  
1才以上15才未満1回2/3包 3才以上5才未満1回1/4包  
8才以上11才未満1回1/2包 3才未満は服用しないでください。  
1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさせて服用してください。  
(用法用量に関連する注意)  
小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。